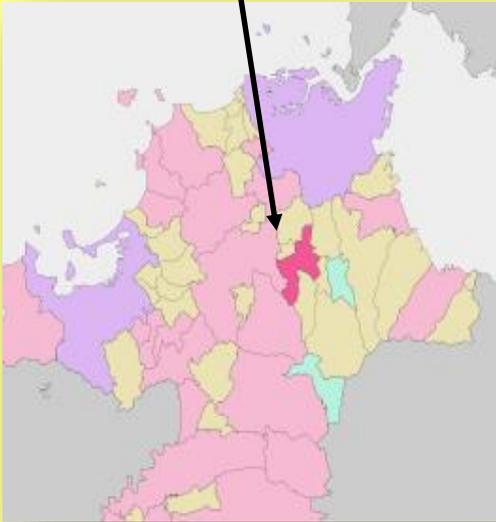


2019 日本ICT教育アワード

学校と行政が一体となった 田川市

「教育の情報化ビジョン」の策定と推進

福岡県田川市



人口 48,316人 <H30年5月現在>



光咲くまち 福岡県 田川市





炭坑節発祥の地



©Yamamoto Family

炭坑節の歌詞にも
出ている二本煙突

「炭鉱記録画」
ユネスコ世界記憶遺産登録
(H23年: **日本初**)

教育のまち田川へ

◎ 田川再生のための4つの柱

柱1：美しい街づくり

柱2：新産業の創出

柱3：教育改革

- 教育委員会と市長部局との共同体制
- 中学校再編の推進と完全給食の実施
- 学校教育と福祉行政の連携の推進
- 「田川ならではの教育」の推進

柱4：子育て支援

三本の矢の会
(毎週火曜日開催)

市長

副市長

教育長



田川市の学力向上策及びアドバイザー

田川市がめざす子ども像 自分のよさや特性を生かし、自立し、進んで社会参画する子ども

社会を生き抜く力

外国語科(活動)の充実
ICT教育の推進

思考力・表現力
情報活用能力

コミュニケーション力

学力の基盤

徹底反復学習(陰山・小河式)
集中力、学習意欲、基礎学力

ICT教育の充実
他

木村松雄氏 高木亜希子氏 陸山美男氏 山本雅弘氏 小河 勝氏

田川市の学力向上策及びアドバイザー

田川市
がめざす
子ども像

自分のよさや特性を生かし、
自立し、進んで社会参画する子ども

社会を生き抜く力

外国語科(活動)
の充実

コミュニ
ケーション力

思考力・表現力

I C T 教育の
推進

情報活用能力



山本朋弘氏

学力の基盤

徹底反復学習(陰山・小河式)

集中力、学習意欲、基礎学力

田川市「教育の情報化」推進のはじまり

ICTを活用した教育推進自治体
応援事業（アドバイザー派遣事業）
に応募



田川市ICTアドバイザー就任

鹿児島大学 山本准教授

- ① 組織づくりを！
- ② ビジョン構築を！

① 田川市ICT教育推進本部の設置
(平成28年11月)



② 田川市教育の情報化ビジョン」策定
(平成29年3月)

田川市「教育の情報化ビジョン」
(教育の情報化推進基本計画) 平成29年
3月策定

協議内容

- ア ICT機器整備計画
- イ 教員ICT研修計画
- ウ 機器導入に関する効果検証



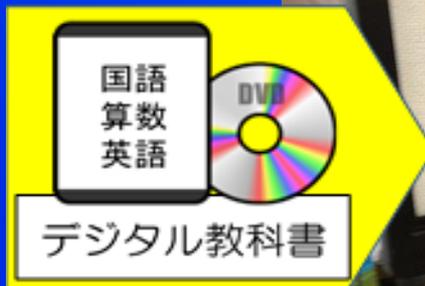
ICT機器整備までの流れ

学校現場の声
(プロジェクターの老朽化等)

ICT推進本部で検討
(より効果的な機器導入)



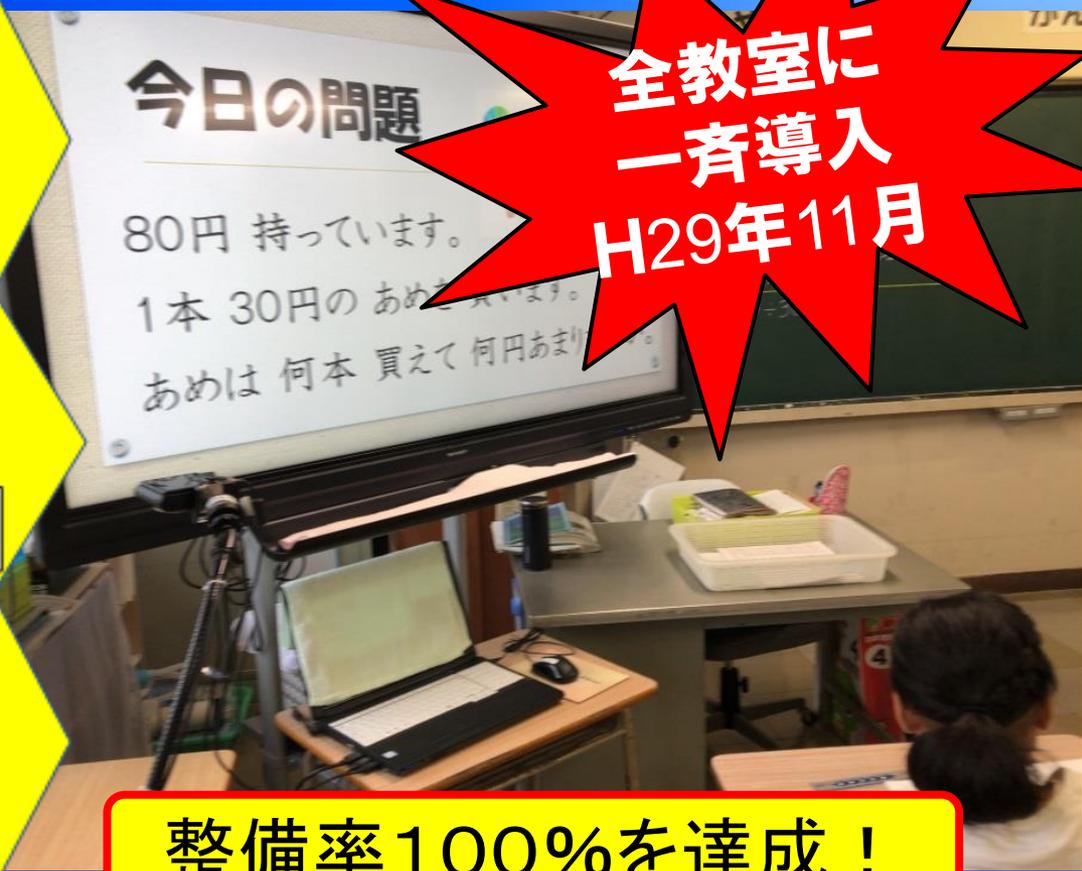
電子黒板



国語
算数
英語
デジタル教科書



書画カメラ



全教室に
一斉導入
H29年11月

整備率100%を達成!

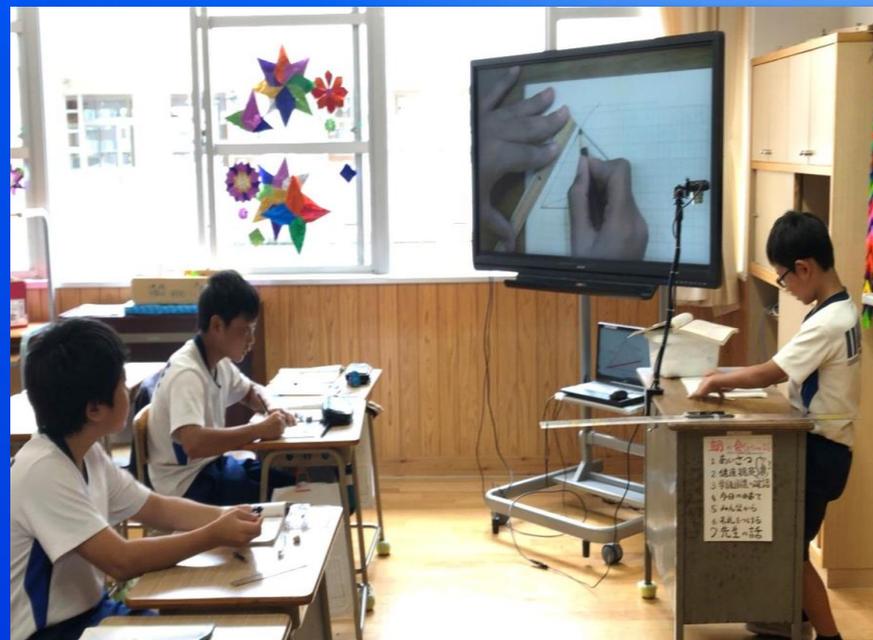
全小・中学校の普通教室にICT機器・コンテンツを常設
小学校 121台 中学校 55台 計 176台



「田川市教育の情報化研修会」の開催（公開授業） <H29～H30>



美術科「三点透視図法を使って」



算数科「図形の拡大・縮小」

検証校（小・中）においてICT機器を活用した授業を公開
→全教室設置の利点を生かし、多様な活用が実現



実践事例集の作成(平成30年10月)

田川市
授業でのICT活用 実践事例集
<平成30年度版>



田川のシンボル「二本煙突」

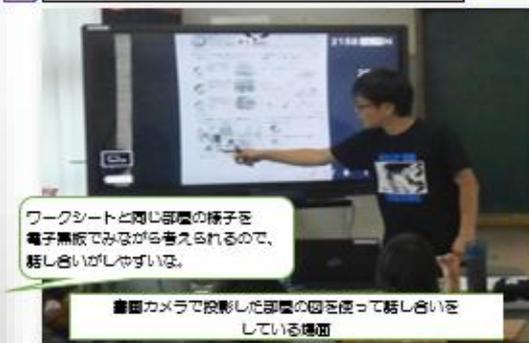
平成30年10月
田川市教育委員会

単元「かたづけよう身の回りのもの」 小 5年 家庭

ねらい及びICT機器・コンテンツの活用方法

ねらい
部屋のどこをどのように整理したらよいかを考え、実践計画を自ら作成することができる。

活用方法
書画カメラで部屋の図を拡大提示し、どこを整理整頓したらよいかを黒点化する。



ワークシートと同じ部屋の様子を電子黒板でみるから考えられるので、話し合いがしやすい。

書画カメラで撮影した部屋の図を使って話し合いをしている場面

参考にしてほしいポイント

黒板で話し合いの視点を確認した後に、書画カメラで部屋の様子をズームして提示すると、整理整頓すればよい箇所を主体的に見つけることができる。

実践の成果(児童生徒の反応)

○ 話し合いで用いる部屋図を書画カメラで拡大提示することで、片付けが必要な箇所や片付け方が具体的にイメージでき、より主体的に実践計

主題「ことばの大切さ」 中 全学年 道徳

ねらい及びICT機器・コンテンツの活用方法

ねらい
人を傷つける言葉を使ってしまった例と使われた例それぞれの立場に寄り添い、自分事としてとらえることができる。

活用方法
電子黒板に教材の場面状況がイメージしやすい画像や言葉などを提示する。



私にも、同じようなことがあったかな。友達に嫌な言葉を使っていないかな？

プレゼンテーションを使って言葉の大切さについて考えている場面

参考にしてほしいポイント

電子黒板に提示する言葉や画像は、生徒の生活に関連したものや、生徒が考えるであろう言葉を選ぶようにする。

実践の成果(生徒の反応)

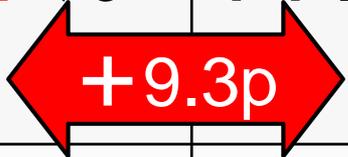
○ 座間で、教材の場面の状況がイメージしやすい場面や、言葉に書く「人を傷つける言葉の書き」と「嫌事としてとらえることができた。」(立石剛田中学校 古原 健太)

市内各校からの実践を収録

→市内全体のICT教育推進の機運が上昇

取組の成果

教員のICT活用指導力の実態調査(平成29年度調査)

授業中にICTを活用して指導する能力	田川市	全国
コンピュータや掲示装置などを活用した資料の効果的に提示する。	87%	77.7%
		
情報を収集したり選択したりできるように指導する。	82%	70.3%
		

市内教員のICT活用指導力は全国比で+10%以上

今後の取組（H31年度～）

田川市ならではの「教育の情報化」



「田川スタイル」の確立



- ① 教科のねらいに応じた効果的なICT活用
（これまでの授業づくりを見つめ直す契機として…）
- ② 社会をたくましく生き抜く力を育成するためのICT活用
（情報活用能力、プログラミング思考の育成等）
- ③ 学校ぐるみ、地域ぐるみの教育の情報化
（ICT支援員、システム構築 等 オール田川で）